

本校の目指す教育

本校の教育目標

人権尊重の精神に基づき、持続発展可能な社会の創り手としての生きる力を育成することを目指し、以下の目標を定める。

自ら学ぶ力

共に生きる心

心身の健康

目指す学校像

先見性と一貫性があり、生徒・保護者・地域から信頼される学校

安全で、豊かな人間性や社会性を育み、関わりやつながりを大切にする学校

生徒の自己実現に向け、一人ひとりに光を当て、粘り強く指導する学校

学習指導要領を推進し、主体的・対話的で深い学びによる教育活動の充実と生徒のタブレット端末の活用を推進

・内言や言語活動による意図的な思考の場の設定
(ハッキリ！)

・課題解決力・表現力を発揮する実践の場の設定
(バッチリ！)

・自己変容と学習成果を振り返るメタ認知の場の設定
(ミッチリ！)

・学びを社会や人生に活かそうとする場の設定
(シッカリ！)

2050年へのパスポート (ユネスコスクール・ESD・SDGs・「多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」)
「自己理解」「地域学習・活性化」「職場体験」「東京発見」「修学旅行」「2050年多摩市への提言」など

目指す教師像

豊かな人間性と思いやりのある教師

安全・安心に気を配り生徒理解を指導に活かせる教師

組織人として積極的に協働し相互に高め合う教師

指導の重点

・規律・礼儀を重んじ相互に人権を尊重し、主体意欲・自尊感情を醸成し自己肯定感の育成
・「いじめ防止対策条例」を踏まえ、いじめを見逃さず解消までを視野に入れた指導
・基礎的・基本的な知識・技能の習得を定着させ、主体的に判断し行動できる態度を育成

・教育活動全般を通して生徒自ら資質・能力を高め、長所や個性を伸ばそうとする生徒の育成
・長所を伸ばし、弱点を克服するために生徒の知・徳・体をバランスよく鍛える視点の重視
・ICT機器を効果的に活用した個別最適な学びと協働学習の一体的な充実を図り、生徒の学びに向かう力や人間性の育成

・学級活動・学校行事・生徒会活動等の目的に即した生徒のリーダーシップとフォロアーシップの育成
・生徒の現状を受容的に受け止め、様々な体験活動を通して他者と共生する心を育成
・SDGsの達成のために、アントレプレナーシップ教育等を中心とした課題解決力の育成

組織の重点

・すべての教育活動・教育課題に対して、職層に応じて力量を活かした組織的な協力と役割分担
・優先順位を考え協働し、結果や過程の共有、事後指導と報告・連絡・相談・確認による効率化
・朝読・ビブリオバトル・生徒の地域活動参画・2050提言等の生徒の自主性や主体性の発揮場面の設定

・危険回避や自助・共助の意識を高めるとともに食物アレルギー、感染症予防への組織的な対応
・コーディネーターや特別支援教室専門員を核に特別支援の情報共有と個に応じた指導の充実
・各教科・総合的な学習の時間・キャリア教育の関連を図り、社会に開かれた教育課程の実施

・実績の上に優しさと厳しさを兼ね備えた指導とカリキュラムマネジメントの充実
・「誰一人取り残さない教育」の実現に向けて組織的な対応の徹底と充実
・学校や集団への適応に課題のある生徒に受容的で継続的な組織での対応

連携の重点

・学校内外の専門家・地域人材・保護者等と協力・協働した教育活動による指導・支援の充実
・心理・医療・療育等の専門家や専門機関と積極的に連携し課題に即した対応の充実
・学校全体が5組の実践から学ぶノーマライゼーション、インクルージョンの充実

・地域の状況を把握し、その課題を実践的に解決することで社会に貢献する資質・能力の開発
・地域学校協働本部を活用した補充学習や検定の取得、共同運営による部活動の充実と地域移行
・学校図書館や外部人材・企業・NPO・大学、小中連携などの教育資源を活用する授業の創造

・ピアティーチャーやインターンシップ等を活用した支援体制と学習や集団への適応の充実
・生徒を主体に学級・学年・学校・家庭・地域それぞれのよさを循環させるCS・協力体制の構築
・生徒会活動・ボランティア活動・部活動などを通して、連帯感や誇り、帰属意識等の充実

CS:コミュニティースクールの略

グランドデザインの具体化

人や社会とかかわる力⇔思考力・判断力・表現力⇔進路を切り開く力⇔未来を予測し参画する力

目指す生徒像

「2050年の社会を自らの力で切り拓き共に活躍できる生徒」